

特別支援教育サポートルーム

「げんき支援教室」のお知らせ

地域の保育所（園）や幼稚園、学校には、特別な教育的支援を必要とする子どもたちがいます。このような子どもたちの支援ニーズに応えるために、本校では担当教員を配置し、積極的に地域支援に取り組んでおります。

Q：誰の、何のための教室？

A：幼児から高校生までのお子さんとその保護者、保育士、教員等、支援の必要がある方を対象としています。

相談をする中で、お子さんの状態を伺い、望ましいかかわりや支援環境づくりについて一緒に考えるための教室です。



Q：気軽に相談していいの？

A：もちろんお気軽にどうぞ。学校園や家庭での生活で、「ちょっと気になる行動がある」「周りの子たちとうまくいかない」「周りの子どもたちより発達が遅いのでは・・・」など、心配がある場合にはお気軽に連絡をください。相談の内容や個人情報が入りに漏れることはありませんので安心してご相談ください。



Q：申し込みの方法は？

A：保護者から直接あるいは担任や学校園を通して連絡をいただいております。

受付は、特別支援教育コーディネーター2名が担当しています。

電話、FAX、メール等で受付しています。

連絡先

弘前大学教育学部附属特別支援学校

〒036-8174 青森県弘前市富野町1-76 TEL 0172-36-5011 FAX 0172-36-5012

e-mail:hufy@hirosaki-u.ac.jp (担当：教頭)

Q：特別支援教育サポートルーム 「げんき支援教室」ではどんなことをする？

A1：「教育相談」

家庭や学校生活のこと、学習活動などで困っていること、気になることなど、いろいろな相談に応じます。よりよい支援の手段を一緒に考えましょう。



A2：「アセスメント」

お子さんの特性の把握や効果的な指導を考えるため、保護者の同意のもとで、個別の検査を実施し、支援方法の提案をさせていただきます。

A3：「情報提供」

就学や進路に関すること、教材教具に関することなど、必要な情報提供に努めます。

A4：「支援計画」「サポートブック」

お子さんの支援について書面にまとめる必要がある場合、個別の教育支援計画やサポートブック等の作成に協力をします。家庭、在籍学校園、教育相談機関等と連携しながら、支援について検討します。

A5：「関係機関へのつなぎ」

お子さんの状態に応じて、他の教育相談機関や専門の先生を紹介することもあります。その際は、お子さんを中心に、より適切な支援環境を整えるために、関係機関と十分連携をとりながら支援の橋渡しをさせていただきます。

○その他

※支援の流れ

連絡をいただいた後に、面談（又は訪問）の機会を設定し、お話を聞かせていただきます。その状況に応じて支援の方針をご提案させていただきます。

※弘前大学との連携

弘前大学教育学部特別支援教育センター（松本敏治教授、増田貴人准教授）と連携・協力した教育相談活動を行う場合もあります。

※個人情報の保護

相談内容、指導経過、結果等は、本人・保護者の承諾なく、他の目的に使用することはありません。

※相談費用

無料です。

学校のWebページ：<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/fuyo/>